

平成21年4月20日現在

研究種目： 若手研究(B)  
 研究期間： 2006年度～2008年度  
 課題番号： 18720238  
 研究課題名(和文) 再集権化期ロシアにおけるサハ先住民の家畜預託と市場経済化についての人類学的研究  
 研究課題名(英文) Anthropological study of livestock trust and privatization among the Sakha indigenous pastoralists in re-centralizing Russia  
 研究代表者  
 高倉 浩樹 (TAKAKURA HIROKI)  
 東北大学・東北アジア研究センター・准教授

## 研究成果の概要：

本研究は、集権化がすすむロシアにおいて市場化と民営化が先住民サハ人のコミュニティの社会経済活動に及ぼす影響を民族誌的に記録すると共に、先住民の伝統文化の動態を明らかにしようとするものである。3年間の調査研究を通して、彼らの家畜飼養における二種の牛馬生産が世帯経済、市場経済それぞれに対応して独自の交換領域を形成していること。特に馬畜産に関しては自営牧夫が出現し、そこで家畜預託が農村を越えた幅広い社会経済関係を構築していることを明らかにする共にその取引における経済的合理性が存在することを検証した。さらにこれらの畜産生産はロシアの民族的少数者であるサハ人の民族的アイデンティティとも密接な関係をもっていることについても明示した。これらから、先住民の伝統的牧畜が、市場化や政治的集権化の文脈に合わせて新たな発展を遂げる柔軟性があることを解明した。

## 交付額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
平成18年度	1,100,000	0	1,100,000
平成19年度	1,000,000	0	1,000,000
平成20年度	600,000	180,000	780,000
年度			
年度			
総計	2,700,000	180,000	2,880,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：文化人類学・民俗学／文化人類学

キーワード：ロシア・先住民・シベリア・市場経済化・文化人類学

## 1. 研究開始当初の背景

90年代前期のエリツイン政権は、脱集権化と急激な市場経済化を進め、ロシア社会に大きな混乱をもたらしたが、これは同時に国営農場システムの労働者でもあった先住民「農業」経営の衰退を招いた。続くプーチン政権の登場は再集権化を進め、前政権とは質的に異なる変化をもたらした。政治的自由（民族主義も含む）の押さえ込みと経済的安定である。こうした文脈において国営農業労働者から「自営農」育成のための法及び政策は充実してきた。こうしたなかでシベリア先住民サハ人の農村コミュニティの社会経済関係を民族誌的に記述する。

## 2. 研究の目的

ポスト社会主義後＝国営農場体制崩壊後に新たに出現した先住民社会における家畜預託の実態を調べることで、市場経済への対応における文化的脈絡を理解することを目的とする。放牧地と定住村落の間で紡がれる委託関係を調査すると共に、「自営」牧夫出現の背景と、その家畜管理のあり方について旧国営農場系の管理と比較する。さらに委託された肉畜の屠殺・流通・消費過程の分析とその文化的意義（商品化に至るモノのバイオグラフィ等）についても考察する。これらの分析を通して、先住民社会の個別世帯経済の維持のあり方を社会経済的・文化的側面双方から解明し、市場経済化に対応して先住民社会のなかで再編された生業とこれに対応する社会関係の特徴を把握することを目指す。

## 3. 研究の方法

ロシア連邦サハ共和国における人類学的フィールドワークおよび文献研究

(1) 2006年9月-10月 ロシア連邦サハ共和国 現地調査

(2) 2007年10-11月 ロシア連邦サハ共和国 現地調査

(3) 2008年10月 ロシア連邦サハ共和国 現地調査（補足、別予算で実施）

## 4. 研究成果

本研究は、集権化がすすむロシアにおいて市場化と民営化が先住民サハ人のコミュニティの社会経済活動に及ぼす影響を民族誌的に記録すると共に、先住民の伝統文化の動態を明らかにしようとするものである。

(1) 3年間の調査研究を通して、彼らの

家畜飼養における二種の牛馬生産が世帯経済、市場経済それぞれに対応して独自の交換領域を形成していることが明らかになった。

(2) 特に馬畜産に関しては自営牧夫が出現し、そこで家畜預託が農村を越えた幅広い社会経済関係を構築していることを明らかにする共にその取引における経済的合理性が存在することを検証した。

(3) さらにこれらの畜産生産はロシアの民族的少数者であるサハ人の民族的アイデンティティとも密接な関係をもっていることについても明示した。

(4) これらから、先住民の伝統的牧畜が、市場化や政治的集権化の文脈に合わせて新たな発展を遂げる柔軟性があることを解明した。

## 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計8件)

Takakura, Hiroki, Indigenous intellectuals and suppressed Russian Anthropology: Sakha ethnography from the end of nineteenth century to the 1930s. *Current Anthropology* 47-6, 1009-1016, 2006, 査読あり

Takakura, Hiroki, Newly emerged independent herding and the horse trust system among Sakha agro-pastoralists in Siberia: Socio-economic conditions in the Post-socialist era. *Asian and African Area Studies*, Special Paper 10:63-76, 2007, 査読なし

高倉浩樹、針葉樹林帯の景観に埋め込まれた資源の周期性と人々の畏怖：シベリア牧畜民サハ人の草刈とアラス、秋道智彌編『資源とコモンズ』（講座資源人類学第八巻）弘文堂、215-242頁、2007年、査読なし

高倉浩樹、生業文化類型と地域表象：シベリア地域研究における人類学の方法と視座、宇山智彦編『講座スラブ・ユーラシア学 第二巻 地域認識：多民族空間の構造と表象』講談社、175-201頁、2008年、査読なし

高倉浩樹、エヴェンキ、トナカイ飼育の崩壊

と狩猟への転換、季刊民族学 124:8-13、2008、査読なし

高倉浩樹、ポスト社会主義人類学の射程と役割、ポスト社会主義人類学の射程（国立民族学博物館調査報告 78、1-30、2008、査読あり

高倉浩樹、ポスト社会主義下における牧畜生産の市場経済適応過程とその文化的位相—東シベリア・サハ人の牛馬飼養文化の変容、ポスト社会主義人類学の射程（国立民族学博物館調査報告 78：501-534、2008、査読あり

Takakura, Hiroki, The concept of manhood in post-socialist Siberia: The Sakha father as a wise hunter and a pastoralist. Sibirica 8-1: 45-67, 2009, 査読あり

〔学会発表〕（計 9 件）

国際会議 Society of East Asian Anthropology Conference 2006、中国・香港、2006 年 7 月 13 日～2006 年 7 月 16 日、Takakura, Hiroki, Private herders and the livestock trust system in Sakha: Market economy and ecology of animal husbandry in Siberia（口頭一般）.

国際会議 Kyoto Symposium: Crossing Disciplinary Boundaries and Re-visioning Area Studies、京都、2006 年 11 月 9 日～2006 年 11 月 13 日、Takakura, Hiroki, Mobility, Flexibility and Potential of Nomadic Pastoralism in Eurasia and Africa(パネル指名).

国内会議 東北民俗の会公開シンポジウム「フィールドから何を掴むか」、仙台、2007 年 6 月 16 日 高倉浩樹、民族誌情報と参与観察：人類学の方法と射程（パネル指名）

国内会議 国立民族学博物館共同研究「生業と生産の社会的布置」、仙台、2007 年 11 月 17 日～2007 年 11 月 18 日、高倉浩樹、ポスト社会主義下におけるサハ人の牧畜生産の市場経済適応：「二重経済」概念をめぐる一考察（口頭一般）

国内会議 シンポジウム「スラブ・ユーラシア学の幕開け」（北海道大学 21 世紀COEプログラム「スラブ・ユーラシア学の構築：中域圏の形成と地球化」総括シンポジウム）、東京、2008 年 1 月 24 日～2008 年 1 月 26 日、高倉浩樹、シベリアを想像＝創造する：人類学と地域研究、（パネル指名）

国内会議 ミニシンポ「ロシアの開発とシベ

リア先住民」（国立民族学共同研究「開発と先住民族」）、大阪、2008 年 1 月 13 日、高倉浩樹、牧畜から狩猟への生業転換とエスニシティヤクーチア北西部の環境と開発（パネル指名）

国内会議 日本文化人類学会第 42 回研究大会、京都、2008 年 5 月 31 日～2008 年 6 月 1 日、高倉浩樹、先住民研究における人類学の領分—国際機関・環境主義・社会正義、（口頭一般）

国際会議 International Congress of Arctic Social Sciences VI、デンマーク・ヌーク市（グリーンランド）、2008 年 8 月 22 日～2008 年 8 月 26 日、Takakura, Hiroki, A wise hunter as the image of father among the arctic pastoralists Sakha: Masculine identity, subsistence, and indigenous minority（口頭一般）

国際会議 G.V. クセノフントフ生誕 120 周年会議：ユーラシアの文化空間、ロシア・ヤクーツク、2008 年 10 月 9 日～2008 年 10 月 10 日、Takakura, Hiroki, Tri deiatelia yakutskoi intelligentsii i etnograficheskie issledovaniia s nachala 20go veka do 1930kh godokh（基調講演）

〔図書〕（計 1 件）

高倉浩樹、佐々木史郎編、ポスト社会主義人類学の射程、国立民族学博物館、総 551 頁、2008 年

〔産業財産権〕○出願状況（計 0 件）

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
出願年月日：  
国内外の別：

○取得状況（計 0 件）

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
取得年月日：  
国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等

<http://www.cneas.tohoku.ac.jp/staff/takakura/takakura.htm>

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

高倉 浩樹 (TAKAKURA HIROKI)

東北大学・東北アジア研究センター・准教授

研究者番号：00305400

### (2) 研究分担者 なし